

○ 第2回合同会議

1 日時・場所

平成21年11月26日(木) 15:30～17:00 県庁201会議室

2 出席者

(1) 県

副知事

(2) 市町村

三条市長 加茂市長 燕市副市長 田上町長 弥彦村住民福祉課長

(3) 医療関係者

三条市医師会長 加茂市医師会長 燕市医師会長

見附市南蒲原郡医師会理事

県立加茂病院長 県立吉田病院長 済生会三条病院事務部長

三条総合病院事務長 三之町病院長 富永草野病院理事長

燕労災病院長

3 議事概要

救命救急センターに必要な機能等に係る今後の検討について協議し、以下の事項について、出席者により合意されました。

(1) 救命救急センターの設置が必要との認識で一致。

(2) 県央圏域に不足している診療機能(特に小児救急、循環器疾患)に係るデータ(受療動向、域外搬送の状況等)を収集した上で、救命救急センターにどのような機能を持たせるべきか検討を行う。

(3) 医療資源の有効活用の観点から、救命救急センターの設置にあたっては、既存病院への診療機能の集約化と圏域内医療機関の機能分担といった視点も考慮すべき。

○ 第1回合同会議

1 日時・場所

平成21年8月25日(火) 16:00～17:05 県庁201会議室

2 出席者

(1) 県

知事 副知事

(2) 市町村

三条市長 加茂市長 燕市長 田上町長 弥彦村長

(3) 医療関係者

三条市医師会長 加茂市医師会長 燕市医師会長

見附市南蒲原郡医師会長

県立加茂病院長 県立吉田病院長 済生会三条病院長

三条総合病院長 三之町病院長 富永草野病院長

燕労災病院長

3 議事概要

議 題

- (1) これまでの経緯、第1回実務者検討会議における検討結果等について
- (2) 今後の検討の進め方について
- (3) 意見交換

「救命救急センターを併設する基幹病院等のあり方検討会議の検討の進め方」等について事務局による説明後、討議を行いました。出席者からの主な発言要旨は以下のとおりです。

- ・ 「あり方検討会議」の名称の中に「基幹病院」の名称が入っていると、基幹病院設置の議論が前提との認識になってしまうので、基幹病院の名称は入れずに、「救命救急センターのあり方検討会議」とすべきである。
- ・ 救命救急センターの必要性の議論を進めた後に、基幹病院設置の必要性についても併せて検討していくということを視野に入れれば、「あり方検討会議」の名称の中には、基幹病院の名称は必要であり、「救命救急センターを併設する基幹病院等のあり方検討会議」という案が適当である。
- ・ 全国的には、単独型の救命救急センターや母体病院の病床数が200床～300床程度の救命救急センターもあり、どうしても基幹病院を設置しなければならないということではない。
- ・ 全国的には、単独型の救命救急センターは少数であり、基本的に24時間365日の体制を確保するということになると、ある程度の医師数、病床数が必要であり、全国の救命救急センターを設置している病院の9割以上が、400床以上の病院である。
- ・ 「実務者検討会議」はあまり役に立たないと思うので、「合同会議」を頻繁に開催して、議論を早急に進めるべきである。
- ・ 「実務者検討会議」で課題等の整理を地道に行い、「合同会議」での議論を経て「あり方検討会議」で方針決定をする事務局案で問題ない。